

# Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 全産業活動指数(2009年9月)

発表日2009年11月19日(木)

～2四半期連続で改善～

第一生命経済研究所 経済調査部  
担当 エコノミスト 小杉 晃子  
TEL : 03-5221-4548

(単位:%)

		全産業活動指数											
		前期比		前年比		第3次産業活動指数		鉱工業生産指数		公務等活動指数		建設業活動指数	
		前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比
08	1-3月	▲0.1	0.2	0.0	0.6	0.3	2.4	▲0.2	▲0.7	▲0.6	▲9.9	▲0.6	▲9.9
	4-6月	▲0.8	▲0.9	▲0.4	▲0.5	▲1.3	0.8	▲0.8	▲1.4	▲2.3	▲11.8	▲0.8	▲11.8
	7-9月	▲1.3	▲1.7	▲0.9	▲1.2	▲3.2	▲1.4	▲0.8	▲2.4	▲0.8	▲8.4	▲0.8	▲8.4
	10-12月	▲2.7	▲5.0	▲1.7	▲3.0	▲11.3	▲14.5	0.6	▲1.1	2.7	▲0.9	0.6	▲0.9
09	1-3月	▲6.2	▲11.1	▲3.1	▲6.5	▲22.1	▲34.6	0.0	▲0.4	▲0.6	▲1.1	▲0.6	▲1.1
	4-6月	0.4	▲9.6	▲0.7	▲6.3	8.3	▲27.8	▲0.5	▲0.6	▲1.3	0.1	▲0.5	0.1
	7-9月	1.1	▲7.4	0.5	▲5.0	7.4	▲20.1	0.7	0.7	▲6.9	▲6.2	0.7	▲6.2
08	1月	0.2	0.3	0.2	0.7	0.5	3.1	0.3	▲0.8	0.1	▲10.2	0.3	▲10.2
	2月	▲0.1	1.4	0.2	1.9	0.5	5.3	0.1	▲1.7	▲0.6	▲10.0	0.1	▲10.0
	3月	▲0.7	▲1.1	▲0.5	▲0.6	▲1.3	▲0.7	▲0.3	0.4	0.1	▲9.5	▲0.3	▲9.5
	4月	0.0	▲0.1	0.2	0.5	▲0.6	1.8	▲0.4	▲2.1	▲1.0	▲10.5	▲0.4	▲10.5
	5月	0.0	▲0.9	▲0.2	▲0.7	1.2	0.9	▲0.2	▲0.8	▲1.4	▲12.1	▲0.2	▲12.1
	6月	▲0.9	▲1.6	▲0.6	▲1.2	▲2.0	▲0.2	▲0.1	▲1.2	▲0.8	▲13.0	▲0.1	▲13.0
	7月	0.1	▲0.3	0.3	0.2	▲0.3	2.3	▲0.6	▲2.6	▲1.2	▲13.0	▲0.6	▲13.0
	8月	▲1.0	▲3.6	▲0.9	▲2.8	▲3.1	▲7.2	0.0	▲0.8	1.9	▲8.2	0.0	▲8.2
	9月	▲0.5	▲1.2	▲0.3	▲1.0	0.1	0.4	▲0.2	▲3.9	0.6	▲4.0	▲0.2	▲4.0
	10月	0.2	▲2.5	0.0	▲1.6	▲3.4	▲6.6	0.6	▲1.4	1.2	▲1.3	▲0.6	▲1.3
	11月	▲2.1	▲6.1	▲0.9	▲4.2	▲7.0	▲16.5	0.1	▲0.1	0.3	▲1.5	▲0.1	▲1.5
	12月	▲2.5	▲6.3	▲1.7	▲3.3	▲8.4	▲20.7	0.1	▲1.8	0.6	▲0.0	▲0.1	▲0.0
09	1月	▲1.2	▲8.9	0.5	▲4.3	▲10.1	▲30.9	▲0.9	▲1.1	▲1.3	▲1.5	▲0.9	▲1.5
	2月	▲3.3	▲12.4	▲2.0	▲7.3	▲9.4	▲38.4	1.3	0.8	0.6	▲1.1	▲1.3	▲1.1
	3月	▲1.6	▲11.8	▲2.7	▲7.7	1.6	▲34.2	▲0.1	▲1.0	▲0.5	▲0.9	▲0.1	▲0.9
	4月	2.2	▲10.1	2.0	▲6.3	5.9	▲30.7	▲1.4	▲1.4	0.8	1.0	▲1.4	1.0
	5月	0.5	▲10.3	▲0.4	▲7.3	5.7	▲29.5	1.1	0.8	▲1.5	1.0	▲1.1	1.0
	6月	0.1	▲8.3	0.2	▲5.3	2.3	▲23.5	▲0.7	▲1.3	▲2.8	▲1.3	▲0.7	▲1.3
	7月	0.5	▲8.3	0.5	▲5.5	2.1	▲22.7	0.5	0.3	▲3.2	▲3.5	▲0.5	▲3.5
	8月	0.9	▲6.7	0.3	▲4.4	1.6	▲19.0	0.1	0.5	▲1.2	▲6.4	▲0.1	▲6.4
	9月	▲0.6	▲7.1	▲0.5	▲5.0	2.1	▲18.4	0.6	1.5	▲1.9	▲8.5	▲0.6	▲8.5

(出所) 経済産業省「全産業活動指数」

## ○ 全産業活動指数：前月比▲0.6%

9月の全産業活動指数は前月比▲0.6%と、6ヶ月ぶりのマイナスとなり、コンセンサス（同：▲0.1%、レンジ：同▲1.1%～+0.7%）を下回った。鉱工業生産指数の改善が続いている一方、第3次産業活動指数が4ヶ月ぶりにマイナスに転じたことが影響した。もともと、単月ではマイナスとなったが、7-9月期は前期比+1.1%と、4-6月期の前期比+0.4%を上回るプラスとなっており、基調としてみれば全産業活動指数の改善傾向は継続しているといえよう。

内訳をみると、プラスに寄与した指数は鉱工業生産指数（前月比寄与度：+0.36%ポイント）、公務等活動指数（同：+0.07%ポイント）、マイナスに寄与した指数は第3次産業活動指数（同：▲0.34%ポイント）、建設業活動指数（同：▲0.09%ポイント）であった。

## ○ 鉱工業生産指数の改善は継続

個別にみると、第3次産業活動指数は前月比▲0.5%と、4ヶ月ぶりにマイナスとなった。各種景気対策やシルバーウィークの効果を受けて家計部門の活動は改善したものの、設備投資の低迷などからソフトウェア業などの情報サービス業の活動が悪化したことがマイナスに寄与した。

鉱工業生産指数は前月比+2.1%と、7ヶ月連続でプラスとなった。国内外での在庫調整の進展や輸出の回復が持続していることが生産の押し上げに寄与したと考えられる。

一方、建設業活動指数は前月比▲1.9%と、5ヶ月連続でマイナスとなった。公共・建設・土木活動指数は、2008年度補正予算の効果の影響が剥落したことで6～8月にかけては前月比マイナスの状態が続いていたが、9月は前月比+0.7%（←8月：同▲2.9%）と、4ヶ月ぶりにプラスに転じた。2009年度の補正予算前倒しの影響がここに来て表れ始めてきた可能性も考えられる。他方、民間・建設・土木活動指数は、足もとの雇用・所得環境や資金調達環境の悪化による住宅投資の減少などを背景に前月比▲3.6%（←8月：同▲1.3%）と、前月からマイナス幅が拡大した。

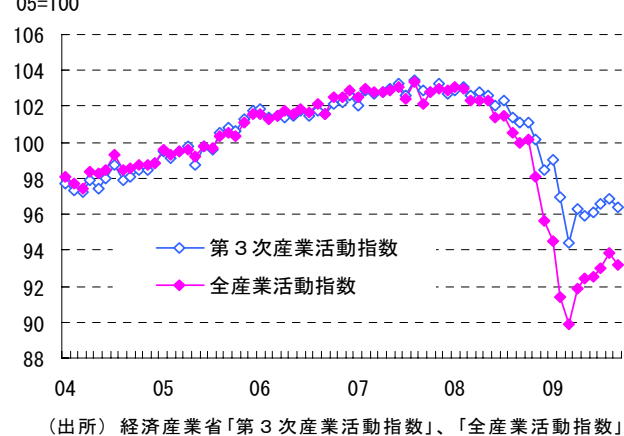
### ○ 先行きも輸出や生産の回復に伴って緩やかな改善が続く見込み

全産業活動指数の先行きを展望すると、第3次産業活動指数は、家計部門においては、足もとの厳しい雇用・所得環境を受けて、回復力の乏しい動きが続くと思われるが、企業部門に関しては、輸出・生産の回復や企業収益の持ち直しなどを背景に改善傾向の持続が見込まれることから、全体では緩やかに改善していくことが予想される。

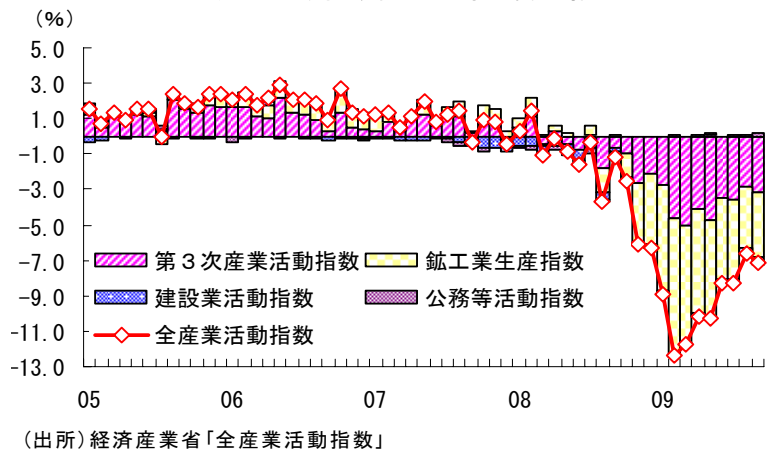
鉱工業生産指数は、在庫調整の進展によるリバウンド効果が一巡していくにつれ増勢は鈍化していくことが予想されるものの、輸出の回復が続いていくことで、引き続き増産傾向を維持するとみられる。

以上を踏まえると、輸出や生産の回復に伴って、先行き全産業活動指数は緩やかな改善傾向が継続しよう。

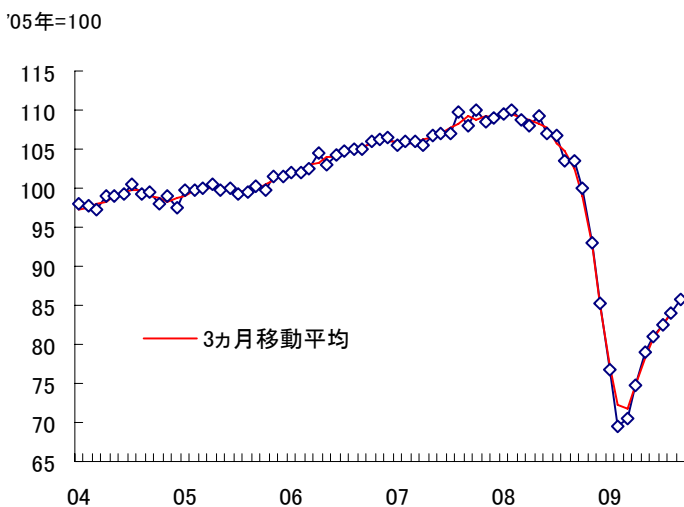
第3次産業活動指数と全産業活動指数（季調値）



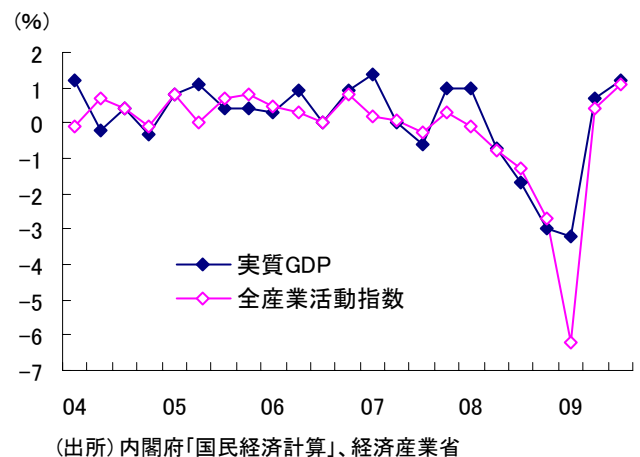
全産業活動指数前年比寄与度分解



鉱工業生産指数（季調値）



実質GDPと全産業活動指数(前期比)



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。